



府中二中だより

教育目標 自分らしく しなやかに たくましく
スローガン 笑顔満開の学校

令和 7 年度
2 月 2 日発行
第 17 号
府中第二中学校
校長 成清敏治
電話 361-9302

過去を振り返り、新たな決意で

令和 8 年（2025 年）はじめての学校だよりになります。今年も二中の教育活動について、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。 校長 成清敏治

今年（令和 7 年・2024 年）は記録的な暑い夏でした。10 月中旬まで 25 度以上の夏日があり、今年は 150 日も夏日を記録しました。単純計算で 5 か月間、季節が「夏」だったわけです。また年末になって三陸沖で大きな地震が起きました。昨年から全国で震度 6 以上の地震が頻繁に起きています。天災は忘れたころにやってくる、との言葉もあります。**備えはとても重要です。**

2 学期は行事がたくさんありました。特に合唱コンクールでの歌声や合奏は練習の成果が表れたものでした。また地域での行事もたくさんあり、ボランティア活動も多くの皆さんに集まってもらいました。今年は二中学生のオリジナルな発想で実施した取組も多く、地域の方々から来年度以降も継続して活動をお願いされています。

さて話は変わります。当然のことですが、**時間は止まってはくれず、戻ることもありません。言葉や行動も取り消すことはできません。**今年 1 年の皆さんの目標や願いは達成できたでしょうか。というか、目標自体を忘れている人が多いのではないのでしょうか。でもここで 1 年を振り返ることがとても大事です。成長するということは、しっかりと振り返りを行い、反省点を明確にして、同じ失敗を繰り返さない決意することが大事です。

現在、3 年生と校長面接を行っています。「中学校時代、もう少し頑張れば良かったことは何ですか」と質問をすると、大半の人は「1・2 年生の時に計画的に勉強しておけば良かった」と答えます。今の皆さんの立場に置き換えてどう振り返ればよいかというと、3 年生は上級学校で同じ失敗をできる限り繰り返さないこと、1・2 年生は自分をどのように成長させるかを考えること。その決意をするのが新年です。新年は特別な意味をもつ節目です。今年 1 年の振り返りの上に、令和 8 年（2026 年）の目標を明確に立て、そこに向かって地道な努力をお願いします。今年の校長先生の目標の 1 つは、全員が無事故で安心して笑顔で二中に通学できることでした。いろいろと反省点もありますが 80% は達成できたと思います。来年もこの目標を継続して取り組んでいきたいと考えています。

最後に、約 2 週間の冬休みに入ります。普段あまりできない家での手伝いや家族との対話、さらに自分の好きな趣味や特技を思い切り取り組んだり、視野を広げてみたりすることも休業中ならできるはず。特に 3 年生は受験の 2 文字がちらつくと思います。勉強も大事ですが、気分転換して常にストレスをうまく吐き出すことも重要な点です。たまには**友人と話をしたり、お出かけしたり、買い物にいたり、少し体を動かしたりすることで、健全な生活を送ることがとても大事です。夜遅くに脳は正常に働きません。夜遅くまで勉強するのは、効率がとても悪いものです。また生活リズムを崩すことで、集中力が続きません。やった**

気になるのが夜間の勉強です。できるだけ効率悪いことを排し、体調を整え、悔いのない日々を送ることが笑顔の春を迎えることになります。応援していますので、自分と向き合って、1番の難敵である自分自身に勝ってください。

(2学期終業式 12月25日)

令和8年(2026年)が明けました。どんな冬休みを過ごしたでしょうか。また、どんな目標を立てたでしょうか。地球は毎日リズム正しく動いていきます。人間も本当はこの正しいリズムを取り入れることが理想だと思いますが、なかなかそうはいかないのが現実だと思います。そこで今日は皆さんに、**「3つの眼をもとう」**という話をします。これは実際の目のことではなく「意識」と捉えてもらえると良いかと思います。

第一に「虫の眼」です。身近なところを見ていくことです。短期間で成果を出すことを優先に考えていくことです。3年生でいえば当然入試の結果です。部活動の試合や定期考査などもこの部類に入ります。でもこれだけでは十分ではありません。虫の眼だけだと、結果に一喜一憂してしまう自分になってしまいます。

第二に「鳥の眼」です。長い期間、また大きな立場で物事を見ていくことです。短期的なことばかり意識すると、道が間違っている可能性も出てきます。その場合、長い眼で見えていくと解決することもあります。特に失敗などは、その時は悲しく辛い状況があったりもしますが、長い眼で見るとその失敗があったお陰で人生が豊かになることもあります。この虫の眼と鳥の眼の両輪を身に付けることを意識してください。

そして**第三に「魚の眼」**です。人生は何があるかわかりません。障害物もあれば、巨大な敵が待ち構えているかもしれません。それを避けたり、たまには立ち向かったり、しなやかに動く力が必要です。それにはどんな力が必要かは、時代によって違います。例えば校長先生が学生のころは「24時間働けますか」というCMに代表されるように、タフで強靱な体力・精神力とともに企業戦士と言われた時代でした。今は働き方改革とか、ライフワークバランスといった言葉もあるようにバランスが問われています。

これからの時代は、自分一人で何でも解決できるわけではなく、みんなと協働しながら物事を進めていく時代です。特に3年生に言いたいのですが、受験を考えると不安で家で勉強したいと考える人もいるかもしれません。しかし、**友人とともに励ましたり支えたり、互いの不安を相談しあったりする中でこそ、人間が今まで地球上で生き延びてきた本当の理由です。皆さんは人と協力し、励ましあうことを忘れないでもらいたいと切に願います。**

最後に、「初心忘るべからず」との言葉があります。新年の決意をいつも持ち続けることがとても重要です。生徒の皆さんにとって令和8年が充実した1年になるよう、いろんな支援をしていこうと決意しています。何かあればいつでも先生方に相談してください。リアルな大人が1番信頼できるものです。「3つの眼」を意識して、まずはこの3学期、次のステップに向けて充実した日々を送りましょう。

(3学期始業式 1月8日)

生徒の活躍 ※敬称略

【水泳部】 第29回 SPRINT 選手権水泳大会

女子50m背泳ぎ 2位 原菜々美
男子50m平泳ぎ 3位 芹澤煌生
男子50m背泳ぎ 3位 谷田将太郎

第33回西部ブロッククラブ対抗戦

女子100m自由形 7位 松永 澄

【卓球部】

中学校新人卓球大会 女子団体 準優勝

